

## わが愛、うけませ

北陸学院 学院長

井上良彦



現在わたしは、学院長・理事長の大任を負っているほかに、小学校長を兼任し、短大教授として毎週90分授業をおこない、宗教主事として短大・小学校の礼拝を毎週、中学・高等学校のそれを毎月担当している。日によっては数本の小文を書くこともある。昔の歌謡にあったように「月月火水木金土」の勤務をしている。上にあげた役目はそれぞれに人を立てるべき重要なポジションではあるが、目下は財政上の負荷を減らさねばならない理由からも、このようにしている。

日野原重明先生の「75才以上を新老人と呼ぶ」説によれば、新老人直前の私であるがよく働いているといえる。けれどもこれは強いられてではなく、2年前に金沢に呼び戻されて以来の、学院に対する私の愛と覚悟から喜んでしていることである。

さて、マルコによる福音書14:3~9に出てくる一人の女性について述べたい。

ベタニア村でのことである。主イエスはシモンの家で食事の席に着いておられた。中庭は開放的で、人の出入りもある。一人の女が入ってきた。手にナルドの香油の入った石膏の壺を持っている。インド産の純粋で非常に高価とされている品である。

突然、彼女は壺をこぼし、香油をイエスの頭に注ぎかけた。人びとは、そのエキセントリックな行動に驚くとともに、憤慨し始めた。「何という勿体ないことをするのだ。」「300デナリ（一年分のかせぎに相当）以上をす

るだろう。」「そんな無駄使いをするより、貧しい人に施しでもすればよかったのに。」——。人びとがつつやいている経済合理性はいかにもリクツがある。

彼女は何者なのだろう。なぜこういう行為をしたか。ルカ七章では「罪の女」とある。風評のある女性だったかも知れない。あるいは「マグダラのマリア」か。いずれにしても、彼女は身も心もボロボロだった。そして、キリストに救われた。その感謝・愛のすべてを注ぎ出したのである。

讚美歌391（旧）にある。

ナルドの壺ならねど／ささげまつる、わが愛／  
みわざのため／主よ、きよめて／うけませ

ルカは、愛は多くの罪をおおう、と言う。彼女は多くの罪を赦された。その証明が彼女の行動である。彼女は主イエスを通して神の愛を受けた。それ以外、何も持っていない。アシジのフランシスは「わたしはみじめ、罪人、人生の敗残者」と語ったという。神のほか満たすもののない巨大な欠乏感。だから神の愛は全身を突き動かす。

この7月27日は学院の創立者メリー・ヘッセル先生の生誕150年の記念日である。万里の波濤を越え、いまからは想像もできないほどの明治の困難な時代に、献身し奉仕し、この学院と金沢を

愛し抜かれた。その愛もまた、注がれた神の愛への反射であったろう。

そうして、118年、この愛は盡きることなく今日も溢れ続けていることを、感謝のうちにしっかりと記憶したいと願っている。

写真左上 国際交流研修センター 完成 1997年（平成9年）

写真右下 愛真館（特別教室棟・学生会館）完成 1990年（平成2年）



## 「地域総合科学科」よき市民を育てるために

北陸学院短期大学 学長

大隅 恵子

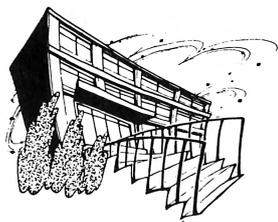


爽やかに晴れ上がった5月の薫風に包まれた栄光台。一年で三小牛が一番輝く季節を迎えています。

2003年度も新入生356名を迎えスタートしました。社会情勢を反映して就職に直結する資格取得学科に志願者が集中する傾向が、本学にも見られました。各人の人生計画にあわせて教養・知識・技術の習得に2年間を輝いて過ごしてほしいと願っています。

しかし、大学で本当に学ぶ必要のあることは、どんな状況の中でも適切に対応できるフレキシビリティ（柔軟性）を身につける事です。固定観念にとらわれず自分の身の丈にあった生きかたが見つけられればよいと思います。

2003年度短期大学の目標の1つとしてあげたのは、これからの社会で短期高等教育機関として担



っていかねばならない役割を見据えて、5学科の改編に向けて準備を始めることです。すでに「改編準備室」を設置し、情報の収集や基本方針を固め教職員の叡知を集めて作業を進めています。短大の役割としては、専門的職業教育、より豊かな社会生活の実現のための教養教育、また生涯学習機会の提供等があげられます。本学が目指す新構想は卒業生の地域定着率が高いことに着目し、地域社会でよき市民として隣人に仕えていく能力を磨く教育をと検討しています。従来の学科の枠にとらわれずに自分の足もとをみながら達成感を味わえるようなカリキュラムを自分で組み合わせていく学科を目指しています。

金沢市には四年制を併設しない短期大学は、本学のみとなりました。本学には継承されてきた確かな教育理念があります。それを堅持しつつ隣人に喜んで手を差し伸べることができる人を育てていきたいと願っています。

皆様の折りにお加えくださり、ご支援くださいますようお願いいたします。

## 初心にかえり 一同窓会副会長に就任して一

北陸学院短期大学 同窓会副会長

新澤 祥恵



2年前の開学50周年の年に同窓会も新しい会則で出発をしましたが、一部役員の交代の時期となり、今回役員に加えていただくことになりました。

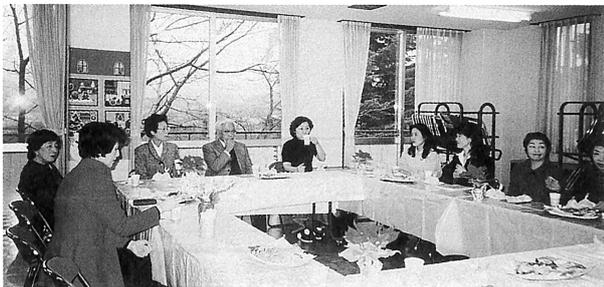
私は、短大を卒業後そのまま母校に調理実習の実習助手として就職させていただき、現在は調理関係の学科目を担当しております。傍ら、「現代の食生活における郷土食」を研究のテーマとしておりますが、先年、金沢市の地域研究助成を受けて「加賀野菜」についての調査をいたしましたとき、同窓生の皆様のお陰で、この研究を進めることが出来ました。遅くなりましたが、この場を借りて、厚くお礼を申し上げます。あの時は、お願いしましたアンケートのお返事をどの位いただけるかと案じておりましたが、沢山のご回答をいただき、同窓の皆様の暖かいご協力に感激したことが、役員をさせていただくこ

とになりました最大の動機です。

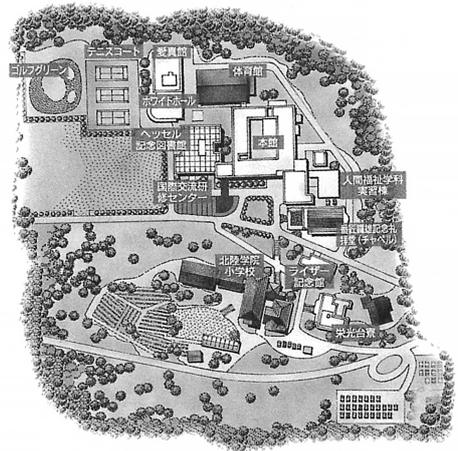
ところで、ずっと短大で過ごしておりますが、学外で、同窓の方々にお会いすると何故かホッとした気持ちになれますのは同じ学舎で過ごしたことがあるという共通の根があるからでしょうか。この根を大切に、拡げられるべく同窓の皆様に続く後輩を育てることも、母校に勤めるものにとって大切な使命と考えています。

今回の役目は、私にとりましてとても重いものであり、会の中で何が出来るだろうかと考えた時、正直、答は出てきません。ただ、考えてみますと、これまでも新しい役割が与えられた時、それぞれが私にとっての試練でした。初めて先生の助手をするために調理台に向かった時、また、授業を持たせていただくようになった時など、その都度が高いハードルでした。今回の役目も私にとっては試練のひとつになると思いますが、「神様は私達の耐えられない試練をお与えになることはない」ということを心に留め、初心にかえって、今、出来ることを見つけていきたいと思っております。

各学科毎の会から5学科合同の会へ、これまで多くの方々のご努力で同窓会も大きく育ちました。この会をこれからも大切に育んでいくお手伝いが少しでも出来れば嬉しく思います。同窓諸姉の皆様よりのご指導をお願いいたしますとともに、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



# 栄光台をたずねて



## ■ 保育学科

子育てを取り巻く現状と私たちの課題

助教授 菅原 創

エンゼルプランに基づいた子育て支援のさまざまな取り組みが行われるとともに、今国会では次世代育成支援対策推進法案が提出され、子どもを育てることが社会の中で重要な課題となっております。

このようになってきた背景には、家庭が子どもを育てられなくなってきたという現実があります。「最近の親は…」という声が聞こえてきそうですが、この現状を理解するためには、私たちが気づかないうちに確実に進んでいる社会の変化に目を向ける必要があります。



現在、保育学科へ入学してくる学生も、そのほとんどが入学してくるまで赤ちゃんを間近に見たことも触ったこともありませんし、身近に子育てをしている家庭の姿を見たこともありません。彼女たちが育った時代は、も

うすでに近所付き合いも近所の異年齢の子ども集団もなくなっていました。子ども達はみな、幼稚園・保育所か学校に年齢別に分けて集められ、家に帰ってから同年齢の友達と家の中で遊ぶという生活をして育ててきています。つまり、自分の家族と、同年齢の子どもの人間関係しか経験せずに育っているということになります。

子育てというものは、人間相手の営みですから、マニュアルはありませんし、また一人でできるものでもありません。周りの人たちから学んだことを生かしながら、周りの人たちとともに行うものです。最近親になった人たちは、経験すべき人間関係の機会がないままに親になった上に、周りには助けてくれる人もいないのです。

そんな現状の中で、私たちにできることは、これから親になる世代の人たちが、より多くの人間関係を経験する機会を作ること。そして、その経験をできずに親になった人たちのために、私たちの経験から得たものを少しでも提供し、親子が健全に生きていくことができる社会を作ることではないでしょうか。

## ■ 食物栄養学科

バランスがとれた脂肪摂取で生活習慣病予防

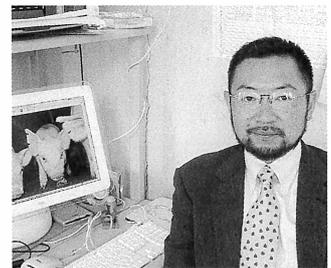
助教授 坂井 良輔

多くの同窓生の皆様は自分の健康、家族の健康に対して大変関心を持たれてるかもしれません。今回、食生活、そのなかでも脂肪摂取に関してのお話をしたいと思います。

脂肪には脂肪酸というものが含まれています。オリーブ油に含まれるオレイン酸、頭が良くなると言われているDHA、さらさら血になると言われているEPAなどは皆さんもご存知の脂肪酸かもしれません。そして数多くの脂肪酸もひとつひとつ体に対する働きが違うということ、生活習慣病予防には脂肪の摂りすぎに注意すること、摂取脂肪酸バランスが重要であるということが明らかになってきています。食の欧米化に伴い、動物性の脂肪を摂る機会が増していますが、植物油には動物性の脂肪に不足している脂肪酸が豊富に含まれています。

そこで、植物油に含まれる脂肪酸やビタミンを畜産物に移行させることができれば、適正なバランスの脂肪酸を含む畜産物を生産することができます。例えば飼料に植物由来の原材料を特定の割合で添加することにより、豚肉に植物由来の有成分を移行させ、適正な脂肪酸バランスの達成と高付加価値をつけることも可能です。

平成10年より、北陸学院短期大学、石川県畜産総合センター、日清オイリオ株式会社、いわゆる産学官でのテーマにとりくみ、上記技術を確立し、本年3月に特許共同出願「畜肉改質剤、畜肉改質用飼料、改善された畜肉及び畜肉の改質方法」を行うことができました。これからは社会に役にたつ、研究を念頭に努力を重ねていきたいと考えております。



## ■ 英語コミュニケーション学科

偶然の意味

助教授 後藤田遊子



6月初旬、ちょうど同窓会報第3号に執筆を依頼された頃に私は思いがけない再会をしていました。必要にせまられ『金沢教会百十年史』（日本基督教団金沢教会、1997年発行）を読んでいて見覚えのある家の写真に出会ったのです。現住所は長町1丁目4番地47号で「ウイン宣教師夫妻の最初の居住地。昭和60年に壊され現在は駐車場になっている」（4頁）という説明が付記され

ていました。

実は、この家は私と夫が1980年に東京から夫の郷里、金沢へ戻って来て最初の6年間住んでいた貸家で、金沢らしい趣のある家を望んだ私達の一目惚れの家だったのです。賃貸契約後に大家からは「あんたらのような都会人がなんでこんな古い家に住みたいが?」と聞かれ、彦三町で開業医をしていた夫の父親には「世間が悪い」と怒られるなど何かと取り沙汰されることの多い家でした。天井裏や流しの下に時折侵入するねずみに悩まされながらも、のどかな日々を与えてくれたこの小さな家を今では懐かしく思い出します。

住み始めてすぐにお隣のお屋敷の当主に言われた「この家には明治時代に外人さんが住んどったがや」という一言が忘れられず、しかも、ある時期からはこの家とウイン宣教師とのかわりに確信すら持ち始めていました。しかし、このことは誰にも打ち明けることなく、今

回、百十年史を手にした時には実はすっかり忘れていました。

私とこの家の出会いを多くの人は偶然と呼ぶでしょうし、ユングのファンならば「共時性(シンクロニシティ)」という言葉を用いて「偶然の意味」を分析するかもしれませんが。しかし、私は不思議な感慨とともに、あの時から今日までの20年余りの自分の人生を振り返り、ただ神の大いなる導きに感謝の思いで心が満たされます。

この家は私達が6年住んだ後すぐに壊されたため、ウイン夫妻の金沢における初住居の最後を私が見届けたこととなります。この事実を確認した今、私は北陸学院短期大学の教員として、また、キリスト者として、明治時代の気迫に満ちた先達の教えに学び、学院の存在意義を広く知らしめていく責任を痛感しています。これこそ、偶然がもたらした意味なのかもしれません。

## 教養学科

### 伝統的食文化について考える

教授 小林 正史



私は考古学と文化人類学の授業を担当し、主として伝統的食文化をテーマとしています。

最近では、伝統的な米の炊き方について日本(東アジア)とフィリピン山岳地帯(東南アジア島部)、タイ(東南アジア大陸部)、バングラデシュ(南アジア)を比較し、「ご飯の炊き方がオカズの種類とどのように関連しているか」を考えています。

その結果、各地域の伝統的調理は地域の環境条件に合うように様々な工夫がされていることが分かってきました。例えば、インドやバングラデシュではサラサラしたカレーと米飯を手で混ぜて食べるため、アジアの中で最

も粘りけが少ない品種の米を使い、かつ、粘りけが溶けだしている煮汁を最後に全て捨ててしまう方法(煮る湯取り法)で米を炊きます。一方、オカズと米飯を混ぜることがない(米飯自体の食感と味を重視する)日本では、最も粘りけが強い品種の米を使い、かつ、水分を米粒の周囲にできるだけ多く吸着させる炊き干し法という方法で調理します。

また、東南アジア地域では、米飯とオカズを混ぜて食べる程度は日本とインドの中間であり、米品種と炊飯方法(炊きあげる湯取り法)による米飯の粘り度も両地域の中間的な特徴を持っています。このように、オカズの種類や調理方法の地域差に比べると炊飯方法は斉一性が高いものの、各地域のオカズの特徴に合わせて炊飯の方法を工夫していることが分かります。

スイッチを押すだけでご飯が炊けることに慣れている私たちはこのような「伝統的技術の優れたノーハウ」を忘れてしまっていますが、これらを掘り起こすようにつとめたいと考えています。

## 人間福祉学科

### 魅力的な人づくりをめざして

学科長 由田美津子



紫陽花の花がしっとりと美しい季節を迎えております。

卒業生の皆様にはお元気でそれぞれの職場でご活躍のことと存じます。私にとって予想外のことでありましたが2003年4月、人間福祉学科長に就任することとなりました。当学科は、5年前地域社会のニーズと短大の未来を見据えた新たな事業展開のために、千葉茂明先生が中核となり開設されました。この3月には第3回生を世に送り出し、介護福祉士免許をもつ卒業生は207名を数えることとなりました。これらの卒業生の活躍により、次第に当学科の存在や望ましい社会的評価が広まりつつあることはとても喜ばしいことと思っております。

そのような折、当学科の顔であり大黒柱であった千葉先生と全国区でご活躍の国光先生が、2002年3月退職され、一時はどうなることかと、皆様に不安やご心配をかけた日々もありましたが、新しい教員の若い活力を得て皆で力を合わせ学科運営に取り組んでいるところです。

福祉は人づくりからと云われます。どんなに素晴らしい制度や施設ができ、便利な福祉機器が備えられても、

心優しい介護職の存在がなければ福祉は成り立ちません。

卒業時に介護福祉士資格が取得できる当学科では、人間性を養うキリスト教教育を基盤においた人づくりを大切にして、障害があっても人がその人らしく生きることを支援できる福祉の専門職の育成をめざしております。

今年の卒業生の就職先は、福祉施設(56%)医療・保健(36%)事務系(8%)と100%で、概ね希望した職場を得て、若い力を発揮されご活躍と伺っております。7月30日のホームカミングデイには元気なお顔を見せて下さい。

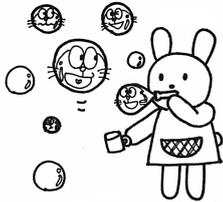
学び舎はいつでも皆様の癒しの場として開いております。



高波 彩香さん

2000年度卒業  
人間福祉学科1回生

短大を卒業して福祉の仕事に就き、早3年目となります。1年目は何も分からずに、仕事を覚えるのでやっとでした。2年目は少しずつ仕事にも慣れ、仕事を楽しむ余裕も出てきました。そして3年目に入る今といえば、1年目には任されなかった仕事を任されるようになったり、後輩も出でて仕事を教える難しさを感じたり、仕事に対して不満を感じたりと、仕事のストレスがたまる毎日です。



でも、「これからも仕事を頑張ろう!」と思うのは、子どもとの何気ない会話が楽しかったり、子どもの笑顔に支えられたりしているからだと思います。子どもといっても我が子ではなく、私の働いている施設は肢体不自由児施設なので…。

最近の子どもとの会話：俺が二十歳になったら一緒にお酒飲めるね。ま、その頃高波さんはオバサンになるとるやろうけどね。あはは!…ですって。

失礼ですよね。

って精神神経科の医局に籍を置き、研修生として修業の日々でございます…学生時代の優雅さといったら…現在の私は時間に追われる中でprivateもほとんどなく、毎日引き続き「勉強中」。これは恐らく一生続くのでしょうか、自分で選んだ道であり、好きな事に携わっているのですから有難いと思わねば(笑)。

専門職の厳しさを日々実感しつつ、短大時代に出会った「心理学」とこれからも永く付き合っていくつもりです。ちなみに英語も研究には必須でありまして…只今Grecから留学生を迎えて医局は勢い英語盛り! Brush-upの必要性も痛感しております、渋谷先生助けて～

林 宣子さん

1967年度卒業  
食物栄養学科4回生

同窓生—ing

母校で学んだことを活かして、  
様々な場面で活躍されている  
5人の方々をご紹介します。

私が北陸学院を卒業させていただいてから、35年になります。29才で結婚、30才で出産、その後持病だった腎臓病が悪化し、一家暗い毎日を過しておりました。44才で糖尿病を併発し、目の前が真暗になった時、東城百合子先生の月刊『あなたと健康』と『家族でできる自然療法』のご本とご縁をいただきました。そこには先生が、栄養士でありながら、肺結核になり、現代医学では



なく、聖書や自然栄養学で癒された体験が載っていました。

私もこの方法でと確信し、玄米菜食を基本食とし、手当法(こんにやくや生姜の湿布、ピロ葉温灸)で1年目で数値は正常になり、有志の方と料理や手当教室をやり始めて8年になります。生かされている事に感謝し毎日活々と生活できるのも短大で学ばせていただいた聖書と食物栄養科での体験が基礎になっている事を感謝し、誇りに思うこの頃です。

この度、ご恩返しの意味でクラスの役員をひきうけさせていただきます。

杉本 和美さん

1976年度卒業  
教養学科8回生



講堂の前の大きな鏡は今もあるのでしょうか、全身が映る大きな鏡です。講堂の前だけではなくあちらこちらにあったと記憶しています。

ある日の礼拝で番匠学長が「女性はいつも自分が一番美しく映るように心がけてほしい、どうしたら一番美しく鏡に映るかを考えてほしい。」とお話されました。聖書の言葉を引用されましたが残念ですがどうしても思い出せません。鏡は外形だけではなく内面を映すものだから心映も美しくなるように多くのことを学びなさいとの内容だったと思います。礼拝でたくさんのお話を聞いた中で何故かこの言葉は心に残りました。卒業後26年が経ちましたが何かの折には心に浮かぶ言葉です。

今、自分は必要とされているのか、自分が出来ることは何か、美しく映っているか、心映えは美しいか、いつも多くの疑問と向きあひながらの毎日です。短いと感じた在学中でしたが、少女から大人への過程に於いて心に残る大切な言葉と出会えたことはとても嬉しいことでした。

松本かおりさん

1991年度卒業  
英語コミュニケーション学科27回生

あっという間に12年過ぎ去りし…英語科での充実した2年間を終えてからの私といえば…留学資金を抽出する為の就職も当初3年間は忙しすぎて辞められず…ようやく一段落と5年後に退社;短大時代に出会って開眼した心理学を専攻とすべく米国に渡って学士号取得。そのお陰で臨床に目覚め帰国後静岡の大学院にまたもや進学(奨学金が膨れ上がるばかり)。



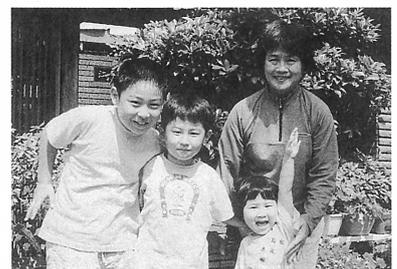
今年3月になんとか追い出されてからは(!)浜松に移

江尻悠喜子さん

1959年度卒業  
保育学科9回生

卒業して早や40数年が過ぎました。北陸学院はいつも身近にあり、私の支えとなっています。短大で保育を学んだことは、幼稚園奉職、子育て、そして今、孫との関わりの中で生かされています。「いつも元気ネ!!」と言われるのも、元来のスポーツ好きで、テニスや水泳を楽しんでいる事もありますが、3人の孫達と毎日過している事が大きな力となっています。いつも笑いがあり、素直で純真な心に感動し日々成長していく孫達から教えられ、励まされ、元気をもらっているのです。

一人は学院の小学校に、一人は扇が丘幼稚園に、一人は来年入園予定で、喜んで通い、大変お世話になっております。時々の送迎や、行事参観、そしてお手紙、会報等から学院の様子を知る事が出来、とても懐かしく嬉しく見えています。社会の混迷している中、基督教教育を願い一番大切なものを見失う事なく育ててほしいと祈っています。



◇ 2003年度総会報告 ◇

2003年5月24日(土) 開催 於 シティモンド・ホテル

爽やかな晴天の日、第3回総会を回生委員・役員・幹事による審議で開催いたしました。

昨年の総会時にご意見を頂いたアンケートの中で、「会場はホテル」でと大多数の回答のもとに、足元軽くお集り頂くことになりました。

総会次第

- 礼拝 お話 北陸学院長 井上良彦先生
- 来賓挨拶 同窓会名誉会長 大隅恵子先生
- 総会挨拶 同窓会長 森 正栄

議事

- ① 2002年度活動報告
- ② 2002年度決算報告
- ③ 監査報告
- ④ 役員選出
- ⑤ 2003年度活動予定案 審議
- ⑥ 2003年度予算案審議
- ⑦ その他



母校への援助活動・ボランティア活動の活発化のご意見がありました

会食 美味しいご馳走に、学科・回生を越えて、和やかな会話がひろがりました。

回生委員・役員・幹事 総数 312名

出席者 61名 委任状提出者 131名

尚、同窓会全会員招集のもとに開かれる総会は、母校の周年記念の年と定めてあります。



2003年度 北陸学院短期大学同窓会役員名簿

氏名	卒業学科
名誉会長 大隅 恵子	学保 養
副会長 澤坂 裕	食物 養
書記 西川 美子	問福 養
会計 小林 知子	保英 養
庶務 野上 久基	食物 養
幹事 大野 由里	食物 養
幹事 小石 苗子	食物 養
幹事 前小 直	問福 養
幹事 須藤 敦	保英 養
幹事 高宮 若	食物 養
幹事 西大 慶	食物 養
幹事 近野 裕	食物 養
幹事 岡 啓	食物 養
幹事 場 美香	問福 養
幹事 波川 恵子	問福 養
幹事 高野 理	問福 養
幹事 中野 一	食物 養

卒業学科 (現名称)

【2002年度 (2002.4.1～2003.3.31) 活動報告】

- 2002.4.6(土) 役員会
- 2002.4.27(土) 役員・幹事会
- 2002.5.18(土) 役員会
- 2002.5.25(土) 第2回総会 開催 (於:シティモンドホテル)
- 2002.7.1(月) 同窓会会報『栄光台の薫風』第2号発行
- 2002.7.6(土) 同窓会会報発送作業
- 2002.9.21(土) 役員会
- 2002.9.28(土) 蚤の市案内チラシ、ポスター作成/印刷
- 2002.10.19(土) 蚤の市準備作業
- 2002.10.26(土) 蚤の市準備作業、チラシ配布
- 2002.10.31(木) 同窓会賞授与式 蚤の市準備作業
- 2002.11.1(金) 蚤の市準備作業
- 2002.11.2(土) 第7回蚤の市開催 (北短祭併催) / 蚤の市反省会
- 2002.11.9(土) 役員会
- 2002.12.7(土) クリスマス礼拝 [お話] 金沢長町教会 佐藤誠司牧師
- 2003.3.10(月) 同窓会入会式 (新入会370名)
- 2003.3.22(土) 役員会

【2003年度 (2003.4.1～2004.3.31) 活動予定 (案)】

- 2003.4.5(土) 役員会
- 2003.4.19(土) 役員会
- 2003.5.17(土) 役員・幹事会
- 2003.5.24(土) 第3回総会 開催 (於:シティモンドホテル) 役員会
- 2003.7.25(木) 同窓会会報『栄光台の薫風』第3号発行
- 2003.7.26(土) 同窓会会報発送作業
- 2003.9. (土) 役員会
- 2003.10.(各週土) 蚤の市準備作業
- 2003.10.30(木) 同窓会賞授与式
- 2003.11.1(土) 第8回蚤の市開催 (北短祭併催)
- 2003.12.13(土) クリスマス礼拝
- 2004.3.8(月) 同窓会入会式

2002年度 北陸学院短期大学同窓会 収支決算報告

自: 2002年4月1日～至: 2003年3月31日 単位: 円

収入の部	2002年度予算額	2003年度決算額	備考
前年度繰越金	5,112,199	5,112,199	
入会金	5,550,000	5,655,000	終身会員15,000円×377名
雑収入	150,000	262,700	蚤の市収益金
雑収入		49,000	会費1,000円×49名
雑収入		7,950	
雑収入		95	
合計	10,812,199	11,083,744	

\*その他財産目録 期首(2002.4.1) 期末(2003.3.31)  
定期預金 ¥12,513,436 ¥12,516,604 <増額は預金利息>  
定期貯金 ¥6,000,000 ¥11,193,000 <増額は新規貯金+貯金利子>

支出の部	2002年度予算額	2003年度決算額	備考
行 事 活 動 費	775,000	370,146	
総会	500,000	193,831	
蚤の市	100,000	47,296	
クリスマス礼拝	100,000	68,905	
同窓会賞	25,000	29,500	図書券5000円×5学科、表彰状印刷
その他活動費	50,000	30,614	
会 報 費	400,000	505,050	会報印刷代
管 理 経 費	2,230,000	1,825,583	
通信費	1,200,000	1,127,177	通信文書・会報発送費
事務運営費	300,000	439,563	事務用品・事務局費
会議費	30,000	10,468	
備品費	500,000	171,189	パソコン周辺機器・コピー機
その他経費	200,000	77,186	
教育振興資金基金献金	150,000	262,700	蚤の市収益金を短大へ献金
銀行預貯金	5,000,000	5,000,000	定期貯金へ
予 備 費	2,257,199	36,750	会則印刷
前年度繰越金		3,083,515	普通貯金3,081,620円・現金1,895円
合計	10,812,199	11,083,744	

\*特別会計 期首(2002.4.1) 期末(2003.3.31)  
奨学援助資金 ¥22,112 ¥242,113  
\* クリスマス献金を積み立てたものであり、その利息を含む

上記決算は適正且つ正確に行われたことを認めます。  
2003年5月15日

監査 高島 涼子  
監査 野坂 一弘

2003年度 北陸学院短期大学同窓会 収支予算 (案)

自: 2003年4月1日～至: 2004年3月31日 単位: 円

収入の部	2002年度予算額	2003年度決算額	備考
前年度繰越金	5,112,199	3,083,515	
入会金	5,550,000	5,850,000	終身会員15,000円×390名
雑収入	150,000	150,000	蚤の市収益金
合計	10,812,199	9,083,515	

\*その他財産目録 定期預金 ¥12,516,604  
(2003年3月31日現在) 定期貯金 ¥11,193,000

支出の部	2002年度予算額	2003年度決算額	備考
行 事 活 動 費	775,000	605,000	
総会	500,000	300,000	
蚤の市	100,000	100,000	
クリスマス礼拝	100,000	100,000	
同窓会賞	25,000	25,000	図書券5000円×5学科
その他活動費	50,000	80,000	
会 報 費	400,000	500,000	会報印刷代
管 理 経 費	2,230,000	2,230,000	
通信費	1,200,000	1,300,000	通信文書・会報発送費
事務運営費	300,000	500,000	
会議費	30,000	30,000	
備品費	500,000	300,000	パソコン周辺機器・コピー機
その他経費	200,000	100,000	
教育振興資金基金献金	150,000	150,000	蚤の市収益金を短大へ献金
銀行預貯金	5,000,000	3,000,000	定期貯金へ
予 備 費	2,257,199	2,598,515	
合計	10,812,199	9,083,515	

\*特別会計 奨学援助資金 ¥242,113  
(2003年3月31日現在)

上記議案は全て総会に於て承認されました。

# CLICK! 短大通信

高校生のみなさんへ

## 北陸学院短期大学 Open House のご案内

オープンハウス 募集要項・オリジナルグッズを呈呈します。

第2回 (事前に予約してください。)

2003年7月31日(木)～8月2日(土) 9:00～12:00

★きつと役に立つ模擬授業。

ひと足さきにキャンパスライフを体験。

他には、キャンパス見学、留学相談会、寮の見学会など。

第3回 (予約は要りません。)

2003年9月13日(土) 13:00～16:30

★進路決定のシーズン、何でも相談しよう。

入試情報を中心に、先生方がていねいに個別相談に応じてくれます。

キャンパス見学、模擬授業等にも参加できます。



【お問い合わせ先】

北陸学院短期大学 入試広報課

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11

TEL&FAX 076-280-3855

E-mail nyushi@hokurikugakuin.ac.jp

北陸学院短期大学附属幼児児童教育研究所主催

### 2003年度夏季講習のご案内

保育者の皆様を対象とした一日講習会を行います。

卒業生の皆様で保育に携わっていらっしゃる方、どうかふるってご参加下さいませようお待ちしております。

◇日時：2003年8月9日(土) 10:00～15:00 ◇場所：北陸学院短期大学国際交流研修センター、愛真館多目的ホール

◇費用：ABCDいずれも1人 1,000円(当日払い) ◇申込締切：2003年7月31日(木) 17:00

◇内容：A：講演会「保育におけるスキンシップの必要性」 山口 創氏(聖徳大学人文学部講師)

B：ワークショップ「スキンシップによる人間関係のトレーニング」 山口 創氏(聖徳大学人文学部講師)

C：実技「ハンドベルを奏しよう」 多保田治江氏(本学教授)

D：実技「からだで表現」 田邊圭子氏(本学講師)

【お問い合わせ・お申し込み】

北陸学院短期大学附属幼児児童教育研究所 所長 児玉衣子まで

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11 TEL. 076-280-3850(代) FAX. 076-280-3851

### 北陸学院短期大学2004年度入学試験日程

募集定員	日程	制度別募集定員				
		人間福祉学科 80	教養学科 70	英語コミュニケーション学科 70	食物栄養学科 80	保育学科 100
インタビュー ステップアップ制	第1次：6月21日(土)～ 8月2日(土)	若干名	若干名	若干名	若干名	—
	第2次：9月1日(月)～ 9月13日(土)					
学校長推薦制	11月8日(土)	35	25	25	50	70
指定校推薦制 (人間福祉学科のみ)		20	—	—	—	—
自己推薦制	12月6日(土)	10	20	15	10	若干名
一般入学制(第1期)	1月30日(金)	15	20	25	20	30
一般入学制(第2期)	2月20日(金)	若干名	5名	5名	若干名	若干名
一般入学制(第3期)	3月16日(火)	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名

注：他に「社会人特別選考」、「帰国子女特別選考」及び「外国人留学生特別選考」あり。  
科目等履修制度、聴講生についての詳しい内容は短期大学事務局までお問い合わせ下さい。

### あの日にがえって学生気分!!

ちょっと時間をやりくりして、平安文学に触れてみてはいかかでしょうか。  
北陸学院短期大学保育学科の山森泉先生が講師です。各公民館で受講申込を受付けています。

\*日時：8月29日(金) 14:00～15:30

場所：野々市町中央公民館  
内容：「平安時代の女性にみる生き方」(全5回のうち3回目を担当/無料)

\*日時：9月3日(水) 10:00～12:00

場所：城南公民館  
内容：「平安時代の女性にみる生き方」(全10回のうち6回目を担当/全期間で受講料1,500円必要)

#### 退職

- 保育学科…………… 細田 章子 講師
- 食物栄養学科……… 中川 静広 実験実習助手
- 人間福祉学科……… 表 志津子 講師
- 入試広報課…………… 数澤 淑子 課長代理
- 事務室…………… 齋須 丈寛 事務員
- 就職指導室…………… 寺井 勝利 就職指導室長

#### 新任

- 保育学科…………… 小山 祥子 講師
- 食物栄養学科……… 澤田 里香 実験実習助手
- 入試広報課…………… 松本 忠之 進路アドバイザー

### 新刊紹介

120年前、北陸に初めて教会を築いたウイン宣教師夫人の伝記

## 信仰の証人 イライザ・ウイン伝 梅染 信夫編 (本学非常勤講師)

頒布：日本基督教団金沢教会 〒920-0962 金沢市広坂1-5-2 FAX 076-263-3951  
頒価：1,000円

# 同窓会活動内容

## ★活動目的★

母校の教育活動の発展に寄与する。  
 会員相互の理解と親睦を図る。  
 短期大学で学んだ高い理想と教養を保ち、広く社会に貢献する。

### 同窓会賞授与式

2001年度より始まった同窓会賞は、2002年度2回目を迎えました。大学祭初日の10月31日に、学長賞と同時に5学科で推薦された5名の学生が表彰されました。

これは、成績優秀であることに加えて、実習先での高い評価を受けたことや、スピーチコンテストに参加したなど、学内外における様々な活動に主体的に積極的に携わった優秀な学生に授与される賞です。

この同窓会賞が、今後も学生達の学習や活動意欲に大きく貢献できるものとなるよう、同窓生一同が願っています。



### クリスマス礼拝

同窓会のクリスマス礼拝は平成14年12月7日(土)に行われました。短期大学の入学試験と重なったため、番匠鐵雄記念礼拝堂ではなく、みんなで持ち寄ったリース、ツリーやタペストリーなどでクリスマスらしく飾り付けたライザー記念館で行いました。日本基督教団金沢長町教会牧師の佐藤誠司先生から、「クリスマスとは旅の物語である」との視点から、また、絵本を手に、クリスマスは「家族の誕生」でもあったとの説教がありました。礼拝後のお茶会では、ゲームをしたり、讃美歌を歌ったりと青春の日々が甦ったように、楽しく和やかなひと時を過ごしました。



## 北陸学院短期大学同窓会

# のみ いち 蚤の市

毎年恒例となりました同窓会主催の『蚤の市』が、北短祭の一般公開にあわせて今年も秋に開催されます。

**日時** 2003年11月1日(土)  
午前9:30～ 売り切れ次第終了

**場所** 北陸学院短期大学構内ライザー記念館  
～ご家族、ご友人お誘い合わせお越しください～  
喫茶コーナー  
(コーヒー/紅茶/手作りクッキー・ケーキもあります)  
懐かしい方々との再会をお楽しみください。

**是非 献品にご協力ください!**  
—2003年10月末日までに—  
蚤の市の売上げは勉学の継続が困難な学生のために奨学金として用いる事を検討しております。ぜひ、ご協力ください。

★ 献品の品 ★ 新品同様の品・日用雑貨品・着用可能な衣類等  
★ 献品の方法 ★ 同窓会事務局へ持参・郵送も可(短大同窓会事務局宛)  
★ 今回より献金も受け付けております ★

### クリスマス礼拝

\*\*\*\*\*

(日時)  
**2003年12月13日(土)**  
午後1:30～

(場所)  
三小牛キャンパス内  
番匠鐵雄  
記念礼拝堂

★クリスマスリース作りのお誘い★

★ 礼拝後、本学非常勤講師の末永由紀子さん(教養学科1971年卒業)を講師にクリスマスリース作りをします。材料のもみの木、リボン、オーナメント等は同窓会で準備いたします。当日は実費(500円程度)をご負担いただきます。  
今年の、ご家庭でのクリスマスは手作りのクリスマスリースでお祝いしてみませんか?  
多くの方々参加をお待ちしています!!

### 同窓会事務局開室の変更のお知らせ

◇開室日：毎週水曜日、金曜日  
◇開室時間：午前9時～12時

同窓会の活動に関するご質問・ご要望・ご提案などがございましたら、どんなことでも同窓会事務局までお寄せください。

事務担当者が決まりました!! 黒杉茂子さんです。

プロフィール：教養学科1981年度卒業／

卒業後、短期大学ハッセル記念図書館で7年間働いていました。小6、中3の子どものがいます。小学校では図書ボランティアを、中学校では広報委員をしています。超細身ですが健康に自身があります。趣味は読書とビーチバレーで、特技はどこまでも歩くことです。 よろしくお願ひします。

北陸学院短期大学同窓会事務局

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11番地 ライザー記念館内  
TEL/FAX 076-280-3830 E-mail/jcog@hokurikugakuin.ac.jp

### 【住所等変更のご連絡について】

同窓会の皆様へ、住所等の変更のご連絡につきましては、

- ①氏名(旧姓)
  - ②卒業学科名、年度
  - ③住所 ④電話・メールアドレス等
- を明記の上、書面、ファックス、メールのどれかでご連絡ください。  
お電話でのご連絡は受付かねますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

■編集後記 同窓会会報“栄光の薫風”は今回で第3号となりました。会報発行にあたり、お忙しい中、原稿をお寄せ頂いた先生方、同窓の方々から心から感謝申し上げます。年に一度のこの会報が、皆様のより身近な機関紙になるように努めたいと思います。懐かしい学院の様子や、卒業生の動きなどを盛り込みましたが、皆様方からのメッセージも頂戴いたしたいと思ひます。事務局宛に郵送、fax、Eメールなどで、お送りください。どうぞよろしくお願い致します。

(編集委員：尾田真知子・石川早苗)

2003年7月20日発行

発行：北陸学院短期大学同窓会

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11番地

TEL/FAX 076-280-3830

E-mail/jcog@hokurikugakuin.ac.jp

印刷：活文堂印刷株式会社